

かざね  
四万十の風音

しんせん  
森&川だより



「滑床山開き」で松野東小学校、松野西小学校  
の児童に森林教室

4月26日、愛媛森林管理署管内滑床山国有林の滑床溪谷で、松野町等が主催する恒例の滑床山開きが行われました。滑床山は足摺宇和海国立公園の指定地域に含まれており、宇和島伊達藩、土佐藩、伊予吉田藩の三藩の境界として杭が立てられていたため、三本杭との呼び名で地域の人々やアウトドア愛好者に親しまれています。

当日、山開きには、松野町、宇和島市、鬼北消防署等の関係機関や地元の松野東小学校と松野西小学校の三・四年生児童計25名も緑の少年団として参加し、総勢約60名が出席して厳かに神事が執り行われ、自然保護と利用者の安全を祈りました。

その後、滑床アウトドアセンター万年荘内をお借りして、愛媛森林管理署と合同で森林教室を行い、児童達に森林のはたらきについて説明しました。

今回の取り組みが児童達にとって、自然や森林を身近に感じることが出来る良い機会になって欲しいと思います。



万年荘内での森林教室の様子



山開きの神事の様子



## 松野西小学校で年間を通じた森林環境教育

愛媛県松野町立松野西小学校の四年生（本年度児童19名）は、平成19年度から「総合的な学習の時間」を利用して毎年度4～6回継続して森林環境教育を実施しており、今年度も支援要請を受け6～7回実施する予定です。

その第1回目として、5月25日に「校庭の樹木学習」を実施しました。

先ず教室で校庭の樹木を観察するポイント等について簡単に説明し、校庭に出て春の木漏れびのなか、クスノキやモミなどの樹木の幹や枝葉に触れさせ、木の肌の感触や葉の匂いを嗅がせるなどの体感を通して33種の樹木についての名前や特徴が理解出来るよう説明しました。

第1回目の終わりに、児童の代表から、「これからの森林学習がとても楽しみです。」「木漏れびキャッチもめっちゃ楽しかった。」等の感想がありました。

第2回目は、「木工クラフト学習」を予定しています。

これらの年間活動を通して、森林の大切さ、木材利用についての理解を深めてもらいたいと思います。



春の木漏れびをキャッチ



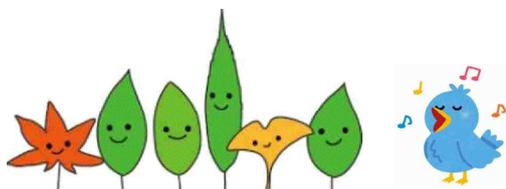
樹木学習の様子



活発に質問してくれました



クスノキの葉っぱはどんな匂い？



## 黒尊親水公園周辺の森林再生に向けて

**広葉樹植栽地のシカ防護ネット柵の点検とあわせて、梅雨時期の下刈作業を実施しました。**

当センターでは、自然再生事業の新たな取組として、平成25年11月に、四万十森林管理署管内の黒尊渓谷親水公園周辺の自然再生を行うために、四万十川地域住民を代表する組織「しまんと黒尊むら」と協働で、親水公園に隣接する黒尊山国有林9林班に、ヤマザクラ、イロハモミジ、ケヤキ、コナラ、クヌギ等広葉樹の植栽と、シカ防護ネット300mを設置しているところです。

この実施箇所は、平成16年の台風10号に伴う集中豪雨で、親水公園に隣接する国有林の山腹が崩壊し、四万十森林管理署が平成17年度に谷止工等の治山工事を実施して、クヌギ、ケヤキ、サクラを植栽したものの、シカの食害により全滅し、現地にはタケニグサやフユイチゴ等のシカの忌避植物以外は生育せず、このままでは林地が荒廃し、渓谷美も損ねている状況であり、地域の方からの強い要望があったものです。

5月31日、広葉樹の植栽地が雑草の繁茂で生育を阻害しだしたことから、シカ防護ネット柵のメンテナンスとあわせて、職員実行で下刈作業を実施しました。



作業後



作業前



## ニホンジカの捕獲推進



当センターでは、高知県四万十市の黒尊山国有林周辺、愛媛県の滑床山国有林周辺において、ニホンジカ被害地の森林再生、植生回復事業に取り組んでいるところです。

更に対策を推進して行くため、平成23年度から黒尊山国有林で、平成24年度からは滑床山および黒尊山に接する愛媛県松野町の目黒山国有林で、「シカの囲いワナ」を設置して委託によるニホンジカの捕獲を実施してきました。

平成28年度からは、黒尊山、目黒山、宇和島市の滑床山国有林において大型・中型・小型の囲いワナ、合計19基を設置してシカの捕獲に取り組んでいます。

囲いワナの付近に自動撮影カメラを設置、シカの生態状況を監視すると、囲いワナの外の餌でさえ恐る恐る食べており、ワナの中へはなかなか入ろうとしません。この警戒心を如何にして緩めるかが捕獲数の増加に繋がると考えてシカの生態や行動パターンの把握に努め、ワナの移動やエサでの誘引、ワナの工夫などの試行錯誤を重ねて来ました。

これらの取り組みの結果、平成29年度のシカの捕獲頭数は58頭と、これまでで最高の捕獲となったところです。囲いワナでの累計捕獲頭数も232頭となったことや地元猟友会による有害鳥獣駆除の効果もあり、当初ほど自動撮影カメラに写らなくなってきました。また、林道でシカと遭遇することも路線によっては少なくなりつつあり、取り組みの成果が出てきています。

今年度も森林への被害が少しでも減少することを期待し、ニホンジカの捕獲推進に努めて参ります。

**4月18日に、大型囲いワナを目黒山2081林班から滑床山2072林班へ移動しました。**



移動前の作業の様子



大型囲いワナの撤去作業の様子



作業の様子



作業の様子



大型囲いワナの設置後



大型囲いワナの設置後

## 片島中学生に森林木工教室

6月5日に宿毛市楠山の旧楠山小学校体育館において、宿毛市立片島中学校の一年生36名を対象に、四万十森林管理署と合同で森林木工教室を実施しました。

「間伐と森林のはたらき」について講義の後、サクラやミズメなどの木の小枝を使ったストラップ等作りを指導しました。生徒達は作品づくりに取り組み、木と親しんだ一日になりました。



木工クラフト製作の様子



森林教室の様子

## オリジナル作品の完成だ、ヤッタネ



## 「西土佐小学校で『木材の特徴』についての講義と実験」

四万十市立西土佐小学校より、「『木材の特徴』についての講義をしてもらいたい。」との要請があり、併せて「今年の四万十川ウルトラマラソンの際に児童が板に絵を描いて選手にプレゼントをしたい。」との相談がありました。

これは、児童に木材の良さを知ってもらう絶好の機会と考え、要請を受けることとして在庫のスギ幅はぎ集成材を活用し準備しました。

そして、6月6日、6年生17名を対象にした「木材の特徴」についての講義を実施しました。

最初に、木材は古くから私たち日本人の生活になくはない存在で、木材には優れた性質があり暮らしを快適にしてくれる素晴らしいものですが、使いづらい点も持っているので木材を上手に工夫をして色々な材料や原料に木材を使っていることについて説明しました。

その後、日本で一番軽い木（桐）と一番重たい木（イスノキ）、世界で一番軽い木（バルサ）と一番重たい木（リグナムバイタ）について説明し、世界で一番軽い木と重たい木の二つの重さを水槽や上皿天秤ばかりを使って比較する実験等を児童に行わせました。天秤ばかりの実験では、1センチ角のリグナムバイタ1個を右側の皿にのせて、1センチ角のバルサを左側の皿に置くと何個で重さが釣り合うかと質問したところ、答えはそれぞれ違う個数で

した。バルサを皿に1個1個と置いていき皿が動き、めもりが自分の予想と外れると歓声が上がっていました。

最後に、児童の代表より、「実験が楽しかった。今まで知らなかったいろいろな木材のことも知ることが出来ました。」と感想がありました。

当所としても地元小学校の要請に応えることができ大変有意義であったと考えています。

これからも児童には、木材に親しみ、利用してもらいたいと思います。



## 松野西小学校で木工クラフト学習

6月12日、松野町立松野西小学校の四年生19名は、年間を通した森林環境教育の第2回目として木工クラフト学習に取り組みました。

最初に、材料の木材は、古くから私たち日本人の生活になくてはならない存在で、木材には優れた性質があり暮らしを快適にしてくれる素晴らしいものですが、使いづらい点も持っているので上手な工夫をして色々な材料や原料に木材を使っていることを説明しました。

次に、作り方や注意点を説明した後、最後は、児童達が昆虫の壁掛け作りに挑戦しました。

コルクの木枠、カブトムシやクワガタムシの各パーツ、動眼（動く目玉）、小枝等の大きさ形を自由に選んで、ボンドでヒノキの板に工夫しながら貼り付けることで作品を完成させました。

終わりに児童から、「これからのいろいろな森林学習を通して、自然のこと、森林のことをもっと知りたいです。とても楽しみにしています。」と感想がありました。

第3回目は、滑床での樹木学習を予定しています。

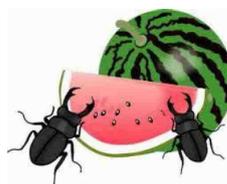
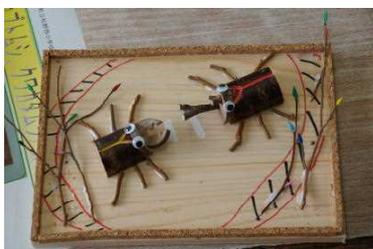
これらの年間活動を通して、森林の大切さ、木材利用についての理解を深めてもらいたいと思います。



木エクラフト製作の様子



木エクラフト学習の様子



林野庁 四国森林管理局  
四万十川森林ふれあい推進センター  
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2  
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031











